ほんま進 県議会だより vol.3

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。
ほんま進 事務所
〒260-0824千葉県千葉市中央区浜野町1408
TEL.043-268-1100　FAX.043-263-9568
URL http://www.s-honma.jp/　Email s-honma@mbr.nifty.com

12月定例県議会 補正予算規模 2202億1千1百万円 復興基金など

昨年は東日本大震災という未曾有の災害を経験し、さらには、福島の原発事故と日本の「安心・安全神話」が崩れ国内を始め千葉県内も甚大な被害をうけました。県民がひとつになり、復旧・復興に向けて取り組むことが、まだまだ続きますが、皆様方のご健勝、ご健康をご祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

それでは、昨年12月20日に閉会した定例県議会の内容をご紹介します。

12月定例県議会が昨年11月25日開会され、平成23年度の補正予算案など、43議案が森田知事より提案されました。

補正予算額は東日本大震災からの復興に充てる市町村復興基金等を盛り込んだ総額202億1千1百万余円の増額で、補正後の予算額は1兆6千9百4億9千9百万余円。

東日本大震災市町村復興基金は、政府の第2次補正予算で計上された特別交付税の千葉県への配分、30億円から新たに新設し、今後、市町村が地域の実情に応じて行う、住民生活の安定やコミュニティの再生等の取組みを支援していきます。

このほか、成田空港の年間発着枠30万回化を受けて、ローコストキャリアの就航や国内線の拡充など、新たな動きが活発化しており、千葉県としても、こうした展開を積極的に受け止めるため、庁内に『パワーアップ！「30万回ビジョン検討プロジェクトチーム」』を立ち上げ、さらに経済界、交通事業者等、広く各界からの参加を得て『グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議』を設置し、成田空港の一層の機能充実と千葉県全体の発展を目指し、官民一体となって取り組みます。と述べました。

ほんま進

12月定例県議会は昨年12月20日までの26日間の日程で行われました。

森田知事は、定例記者会見で、来年度当初予算編成で600億円の財源不足が生じている状況について、「大変つらい。国の地方財政対策を注視するとともに各部局からの要求内容をもう一度精査しなければならない」との認識を示した。

厳しい財政状況の中、県民の皆様の「安心・安全」を第一に取り組んで参ります。今後の政府の動きや県の対策状況を、この議会リポートを通じて皆様へお伝えしてまいります。

千葉県議会統合リゾート(IR)研究議員連盟 ――― 設立

千葉県議会統合リゾート(IR)研究議員連盟とは、成田空港を有し外国人観光客の玄関口である千葉県の特性を鑑み、国際観光機能とMICE機能とカジノが一体となったリゾート(IR)構想について情報収集及び研究等を行い、もって千葉県における国際競争力のある滞在型観光の振興や地域経済の振興に寄与することを目的としています。

会　長　ほんま 進（自民党）
副会長　石橋 清孝（自民党）
　　河野 俊紀（民主党）
幹　事　渡辺 芳邦（自民党）
　　林　幹人（自民党）
　　天野 行雄（民主党）
　　佐藤　浩（みんなの党）
監　事　斉藤　守（自民党）
　　矢崎 堅太郎（民主党）

【政党別会員数】

自民党……	42名
民主党……	7名
みんなの党……	4名
千葉県民の声……	1名
合計	54名

千葉県では、昨年6月に「国の施策に対する重点提案・要望事項」を公表後、これまで国の施策に反映されるよう、提案・要望活動を行ってきました。

これらの事項について、昨年12月24日に閣議決定された平成24年度政府予算案のうち、公表された資料から判明した千葉県に特に関係する事項についてお知らせします。

成田国際空港の整備

同時平行離着陸方式の効率的な運用に必要な監視装置の整備等(国直轄事業費)として13億円(概算要求額満額)の決定がありました。

平成24年度の警察官の増員

全国枠で要求がなされた626人がすべて認められ、このうち本県には16人配分される見通しとなりました。

首都圏中央連絡自動車道及び東京外かく環状道路の整備

大都市圏環状道路の整備として、「日本再生重点化措置」枠を含め、1,237億円の決定がありました。

八ッ場ダムについて

ダム建設が進められることになりました。

千葉県の人口、初の減少

9ヶ月で5200人減 震災の影響か、都市部でも

昨年10月1日時点の県の人口が昨年1月から5207人減の6211万1820人となり、年間人口が初めて減少する見通しとなりました。東日本大震災で液状化被害を受けた浦安市や、周辺より空間放射線量が高い「ホットスポット」とされる東葛地域など、これまで県の人口増をけん引してきた都市部で、人口減や転入者の減少が目立っている。県や市は「震災や原発事故が影響した可能性がある」とみています。

少子高齢化に伴い、すでに多くの都道府県で人口が減少しているなか、千葉県では都市部への新住民流入などにより2017年までは、人口が増え続ける見込みだった。実際、一昨年1年間は、30市町で計1万1216人減った一方、24市町村で計4万924人増え、全体で2万9708人増でした。

ところが、昨年10月1日時点、昨年初1月1日と比べ5207人減少。市部が3274人減とマイナスに転じ、町村も1933人減となった。千葉県統計課は「昨年の県人口は一昨年と比べ減少するのはほぼ確実」とみている。県の人口は統計がある1920年以降、増加を続けており、初の減少となります。

市町村別で減少数が大きいのは、市川市の1260人、浦安市の1049人、銚子市の956人など。震災で液状化被害が大きかった浦安市は、一昨年983人増からの千人を超すマイナスに転じた。浦安市は昨年4月から10月の7ヶ月連続で人口が減少しており、市の担当者は「これまでの連続減は過去になく、震災の影響だろう」とみています。

一昨年の人口がプラスだったにもかかわらず、昨年マイナスとなっているのは浦安市をはじめ、市原市、九十九里町など12市町村に上ります。

プラスを維持している地域でも、変化が起きている。柏市は983人増だが、昨年8月以降、転入者から転出者を差し引いた「社会動態」は4ヶ月マイナス。柏市は「転出が増えたというより、転入が明らかに減った。放射能問題が報道されている影響はあるかもしれない」と話しています。

千葉市内の人口増減

区分	人口（昨年10月1日）	昨年1月との増減
千葉市	963,501人	495人
【中央区】	200,228人	522人
【花見川区】	180,342人	▲418人
【稲毛区】	157,444人	▲489人
【若葉区】	151,867人	184人
【緑　区】	123,736人	1243人
【美浜区】	149,884人	▲547人
千葉県合計	6,212,650人	▲5207人